

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上)

菅 原 諭 賴

はじめに

『永平広録』には、四二七首余の偈頌が存するのであり、既に卷九・卷十所収の偈頌については、拙稿『永平広録』卷十所収「偈頌」の本文対照』(『愛知学院短期大学研究紀要』第七号、一九九九年三月)、『『永平広録』卷九所収「偈頌」の本文対照』(『愛知学院大学短期大学部紀要』第八号、二〇〇〇年三月)において、本文対照を行った。

本稿では、上堂語に存する道元禅師の偈頌について摘出し、禅師の詩作の特色について検尋する。上堂語は『永平広録』卷一から卷七に収録されており、道元禅師の偈頌については、門鶴本の各巻末に識語があり、それによれば、

偈頌の総数は一七五首となる。しかし、この総数については、現在のところ、門鶴本の表示とは必ずしも一致せず、各巻多少の増減が認められるのであり、今後、厳密なる検証を要するものと思われる。

今回は特に卷一から卷四に収録されている偈頌九十二首(門鶴本によれば九十一首)に限定して、本文の異同及び平仄・押韻などの漢詩の諸形式・特殊な用例に着目しながら、円山本と門鶴本との相違を明確にするよう努めた。

もとより不完全な箇所も多々存すると思われるが、識者のご叱正を乞い徐々に訂正補筆していくたい。

凡 例

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(H)(菅原)

一、『永平広録』は、円山本は大谷哲夫編『円山本永平広録祖山対

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上) (菅原)

校本全 (一穂社)、門鶴本は渡部賢宗・大谷哲夫監修『祖山本永平広録_{考注}集成』(一穂社)を用いた。

一、門鶴本の傍線部は、兀山本との共通箇所であり、字句が前後したり、異体字・俗字等がある場合は点線で示した。

一、偈頌には平仄を、○平字・●仄字・◎押韻で示し、平仄い

ずれでも使用可能な場合は、適宜どちらかに統一した。

一、偈頌の韻字分類は、へで示した。

一、各本の「偈頌」の冠頭には、それぞれの通し番号を付しておいた。

一、各本の比較対照については、下段の「備考」欄に記した。

番号	1	2
兀山本『永平広録』	(2)	(13)
門鶴本『永平広録』	(1)	(12)
備 考		

兀本・門本共に「押韻」なし。
兀本・門本共に第七字目の「杖」「上」
[長]は「上声・二三養」。

5	4	3
(23)	(16)	(14)
不・得・不・知・佛・大・意・	點・埋◦露◦丙◦來◦在◦柱◦丁◦吹◦寒◦燈◦童◦滅◦灰◦籠◦子◦再◦摸◦幾◦來◦生◦未◦惜◦求◦行◦見◦明◦火◦	天◦江◦三◦供◦漢◦西◦人◦養◦兔◦翫◦正◦修◦蟾◦月◦好◦行◦自◦縱◦一◦拂◦證◦如◦圓◦袖◦明◦是◦成◦行◦
	下平 · 八庚	下平 · 八庚
(22)	(15)	(13)
不・得・不・知・佛・大・意・	點◦埋◦露◦丙◦來◦在◦柱◦丁◦吹◦寒◦燈◦童◦滅◦灰◦籠◦子◦再◦摸◦幾◦來◦生◦未◦惜◦求◦行◦見◦明◦火◦	天◦江◦三◦供◦漢◦西◦人◦養◦兔◦翫◦正◦修◦蟾◦月◦好◦行◦自◦縱◦一◦拂◦證◦如◦圓◦袖◦明◦是◦成◦行◦
正本・門本共に第三句七字目の「飛」	正本・門本共に「踏落」。	正本・門本共に第四句「孤平」。

番号	6	7	(27)
正山本『永平廣錄』	此・長・風・ 度・空・流・ 何・不・淺・ 勞・礙・處・ 問・白・却・ 石・雲・風・ 二頭・飛・流・ 尤	此・長・風・ 度・空・流・ 何・不・淺・ 勞・礙・處・ 問・白・却・ 石・雲・風・ 二頭・飛・流・ 尤	佳・算・璧・佛・ 節・來・珠・佛・ 度・算・面・身・ 知・積・目・心・ 是・幾・象・今・ 一・長・天・得・ 陽・遠・方・長・
門鶴本『永平廣錄』	此・長・風・ 度・空・流・ 何・不・深・ 勞・礙・處・ 問・白・却・ 石・雲・風・ 頭・飛・流・	佳・算・璧・佛・ 節・來・珠・佛・ 度・算・面・身・ 知・積・目・心・ 是・幾・象・今・ 一・長・天・得・ 陽・遠・方・長・	百・作・對・ 千・賓・說・ 萬・又・團・ 度・手・鬪・ 道・主・其・ 來・元・十・ 多・在・分・
備考	は平字。 正本・門本共に第一句「下三連」。	正本・門本共に第四句「孤平」。	正本・門本共に「押韻」なし。 〔仄頭〕。 〔不粘格〕。

10	9	8	
(44)	(37)	(31)	
百・草・如・今・將・夏・結・	何・桃・青・天・處・花・々・外・覓・千・野・春・靈・萬・色・將・雲・朶・分・暮・ 下平・二文	出・魔・一・摩・頭・佛・等・訶・更・縱・玄・般・道・雖・談・若・是・同・非・波・何・口・兩・羅・必・說・一・密・	
(44)	(36)	(30)	
百・草・如・今・將・夏・結・	何・桃・青・天・處・花・青・外・覓・千・野・春・靈・萬・色・將・雲・朶・分・暮・	出・魔・一・摩・頭・佛・等・訶・更・縱・玄・般・道・雖・談・若・是・同・非・波・何・口・兩・羅・必・說・一・蜜・	
出本・門本共に第四句「踏落」。		出本・門本共に第一句「孤仄」。	
出本・門本共に「孤平」。		出本・門本共に「押韻」なし。 第七字目の「密」「蜜」「二」「必」は 共に「入声・四質」。	

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上)(菅原)

番号	11	12	(46)	(45)	正山本『永平広録』	門鶴本『永平広録』	備考
			衣○轉・佛・ 盂○於・祖・ 縱○盡・法・ 入・界・輪・ 可・轉・其・ 傳・微・力・ 手・塵・大・	摩○覺・萬・一・ 訶○路・事・生・ 般・莊・回・年・ 若・嚴・頭・月・ 波・誰・非・是・ 羅・不・得・何・ 密・道・失・必・	結・一・拈。 果・花・來。 自・五・盡・ 然・葉・地・ 必・開・萬・ 可・天・千・ 成・澤・莖・	結・一・拈。 果・花・來。 自・五・盡・ 然・葉・地・ 必・開・萬・ 可・天・千・ 成・澤・莖・	正本・門本共に「押韻」なし。 第七字目の「必」「失」「密」「蜜」は 共に「入声・四質」。
					〔下平・八庚〕		

14

(73)

未・周○乾○盡●
免・行○坤○界●
傍○七●今○多○
觀○步●日●時○
笑●費●彩●天○
一●全○光○欲●
場○力●彰○曉●

〔下平・七陽〕

13

(63)

得●獨●諸○如○
便○有●大●來○
宜○過○聲○無○
處●量○聞○上●
落●諸○總●菩●
便●菩●不●提○
宜○薩●知○義●

〔上平・二真〕

(75)

未●周○乾○盡●
免●行○坤○界●
傍○七●今○多○
觀○步●日●時○
笑●費●彩●天○
一●全○光○欲●
場○力●彰○曉●

(64)

得●獨●諸○如○
便○有●大●來○
宜○過○聲○無○
處●量○聞○上●
落●諸○總●菩●
便●菩●不●提○
宜○薩●知○義●

正本・門本共に「踏落」。

正本・門本共に「踏落」。

番号	15	16	17
正山本『永平廣錄』	(74)	(75)	(76)
	不・且・半・秋。	無・胡・這・折・	淨・玄。
	知・問・逐・雲。	限・來・回・盡・	鏡・黃。
	方・儂・年・秋。	清・胡・不・月・	何・莫・
	外・家・時・日・	光・現・戀・中・	夢・染・
	若・相・半・兩・	十・漢・舊・桂・	好・我・
	為・對・似・悠・	五・來・這・樹・	與・明・
	酬・話・留・々・	一枚・漢・回・來・	嫫・珠・
	尤	灰	
門鶴本『永平廣錄』	(76)	(77)	(78)
	不・且・半・秋。	無・胡・這・折・	淨・玄・○
	知・問・逐・雲。	限・來・回・盡・	鏡・黃・○
	方・儂・年・秋・	清・胡・不・月・	何・莫・●
	外・家・時・日・	光・現・戀・中・	夢・染・●
	若・相・半・兩・	十・漢・舊・桂・	好・我・●
	為・對・似・悠・	五・來・這・樹・	與・明・●
	酬・話・留・悠・	一枚・現・回・來・	嫫・珠・○
備考		正本・門本共に第二句「三六對」成 らず。 正本・門本共に第一句「孤平」成	

19

18

(78)

(77)

道・玉・換・喪。	雲○一・見・佛・	夜・不・
衣○石・面・身・	水・莖・成・祖・	來・覺・
道・拋・回・失・	不・草・公・翻・	倒・重・
法・來・頭・命・	期・立・案・身・	景・輪・
道・雖・一・報・	得・十・百・五・	在・塵・
心・不・大・君・	^{上平} 々・方・千・萬・	^{上平} 珊・刹・
時・管・疑・知・	一〇灰	瑚・海・

〔上平
四支〕

(80)

(79)

道 ・玉 ・換 ・喪 ○	雲 ○一 ・見 ・佛 ・	夜 ・不 ○
衣○石・面・身○	水・莖○成○祖・	來○覺・
道・拋・回・失・	不○草○公○翻○	倒・重・
法・來・頭・命・	期○立○案○身○	景・輪○
道・雖・一・報・	得○十○百○五○	在・塵○
心・不・大・君・	得○方○千○萬○	珊○刹○
時・管・疑・知・	来○刹○枚○回○	瑚○海○

『永平廣錄』上堂語所収「偈頌」の本文対照表（上）
(菅原)

番号	20	21	22
正山本『永平廣錄』	(80)	(81)	(83)
	供○辨○大○靈○ 養○來○悟○根○ 十○作○二○無○ 方○乳○三○向○ 僧○粥○升○背○	海○莫○不○不○ 裡○教○為○是○ 春○汝○自○心○ 秋○等○己○佛○ 有○少○不○不○	此○人○ 力○人○ 條○修○ 條○道○ 自○力○ 在○行○ 期○治○
門鶴本『永平廣錄』	(82)	(83)	(85)
	供○辨○大○靈○ 養○來○悟○根○ 十○作○二○無○ 方○乳○三○向○ 僧○粥○升○背○	海○莫○不○不○ 裡○教○為○是○ 春○汝○自○心○ 秋○等○己○佛○ 有○少○不○不○ 海○知○為○是○ 神○及○人○物○	此○人○ 力○人○ 條○修○ 條○道○ 自○力○ 在○行○ 期○治○
備考	正本・門本共に第三句「四仄一平」。 正本・門本共に第三句「三四不同」。 成らず。 正本・門本共に「不粘格」。	正本・門本共に「踏落」。 正本・門本共に第一句「三四不同」。 成らず。 正本・門本共に第一句「孤仄」。	

24

23

(87)

樵○一・親・須○
夫○念・見・弥○
消○百・拈・山○
息・年・花・也○
在・三・自・須○
山○萬・破・弥○
間○日・顏・山○

上平
二五刪

(86)

躰○七・山・倒○
得○通・河・踏○
一・八・眩・當○
枚○達・轉・胸○
黃○衝・曉・脊○
面○天・風・骨○
皮○氣・吹・折○

上平
四支

山○日・
林○々・
那・祇○
見・陪○
道・人○
成○事○
時○過○

上平
四支

(89)

樵○一・見・須○
夫○念・有・弥○
消○百・拈・山○
息・年・花・道○
在・三・自・須○
山○萬・破・弥○
間○日・顏・山○

體○七・山・倒○
得○通・河・踏○
一・八・眩・當○
枚○達・轉・胸○
黃○衝・曉・脊○
面○天・風・骨○
皮○骨・吹・折○

山○日・
林○日・
那・祇○
見・陪○
道・人○
成○事○
時○過○

正本
・門本共に第一句
・門本共に第二句
〔孤仄〕。
〔下三連〕。

正本
・門本共に第一句
〔踏落〕。
・門本共に第二句
〔下三連〕。

番号	25	26	27
正山本『永平広録』	(88)	(91)	(92)
	世・枝・東・春。	遍・二・鶴・因・受・山。	参・十・鵠・果・脱・河。
	界・々・君・信・	秋・年・頻・明・一・大・	
	花・染・兀・通・	菊・来・轡・々・枚・地・	
	開・得・々・和・	及・學・百・非・皮・野・	
	是・珊・坐・徧・	春・祖・花・己・肉・狐・	帝・瑚・雲・地・
	郷・色・堂・芳・	松・宗・没・物・骨・窟・	下平 七陽
門鶴本『永平広録』	(90)	(94)	(95)
	世・枝・東・春・	遍・二・鶴・因・受・山・	参・十・鵠・果・脱・河・
	界・枝・君・信・	秋・年・頻・明・一・大・	秋・年・頻・明・一・大・
	花・花・兀・通・	菊・来・轡・□・枚・地・	菊・来・轡・□・枚・地・
	開・笑・兀・和・	及・學・百・非・皮・野・	及・學・百・非・皮・野・
	是・珊・坐・徧・	春・祖・花・己・肉・狐・	春・祖・花・己・肉・狐・
	郷・色・堂・芳・	松・宗・没・物・骨・窟・	松・宗・没・物・骨・窟・
備考	正本・門本共に第一句「三四不同」成らず。門本は第三句「孤仄」。	正本・門本共に第七字目「窟」「骨」 〔没〕は「入声・六月」。 門本第三句四字目は欠如か。	正本・門本共に第四句「孤平」。

29

(95)

過・諸・誰・十・我・
去・佛・知・方・佛・
未・单・歩・七・如・
来・傳・々・歩・來・
并・今・生・一・今・
現・日・諸・時・日・
在・聲・佛・行・生・

28

(94)

光・且・佛・人・
明・間・殿・々・
教・人・僧・自・
有・々・堂・有・
光・何・更・光・
明・處・莫・明・
對・來・壞・在・

(上平二冬)

(97)

過・諸・誰・十・我・
去・佛・知・方・佛・
未・单・歩・七・如・
来・傳・歩・步・來・
并・今・生・一・今・
現・日・諸・時・日・
在・聲・佛・行・生・

(98)

光・且・佛・人・
明・間・殿・人・
教・人・僧・自・
有・人・堂・有・
光・何・更・光・
明・處・莫・明・
對・來・壞・在・

先・瞻・
佛・風・
受・撥・
功・草・
各・欲・
跳・傳・
封・道・

正本・門本共に第七句「三四不同」
成らず。
正本・門本共に第八句「孤平」。
門本のゴシックで示した箇所は、興
聖寺本より補つた。

正本・門本共に「押韻」なし。
正本・門本共に第四句「孤仄」。

番号	30	31
正山本『永平広録』	(100)	(101)
門鶴本『永平広録』		(104)
備考		

門本の上堂語第一〇三には「佛言、往来六道無停止、一句正法聞是難」とあり、正本の転句・結句を欠く。
正本は「踏落」。

正本は第二句、第三句「三四不同」成らず。

正本・門本共に「押韻」なし。

正本・門本共に第三句七字目の「清」

正本・門本共に第七字目の「節」「滅」
は平字。
「悦」は「入声・九屑」。

34	33	32
(106)	(105)	(104)
火・ 打・風○不・超○	聖・雲○関○越○	黒・要○日○盡○
爐○ 聖・雲○關○越○	打・感○南○從○	山○會○月○方○
今○ 打・感○南○從○	賢○會○北○來○	鬼○團○星○盡○
日・ 賢○會○北○來○	打・喫○及○諸○	窟○鬪○辰○界○
大・ 打・喫○及○諸○	一・糊○東○佛○	好○如○似○一○
開○ ^{上平} 一・糊○東○佛○	^{上平} 齊○餅○西○祖○	功○不○兔○明○
口・ 齊○餅○西○祖○	^{七虞}	夫○會○烏○珠○
(109)	(108)	(107)
火 ・ 打 ・風 ○不 ・超 ○	聖 ・雲 ○關 ○越 ○	黒 ・要 ○日 ○盡 ○
炉 ○ 聖 ・雲 ○關 ○越 ○	打 ・感 ○南 ○從 ○	山 ○會 ○月 ○方 ○
今 ○ 打 ・感 ○南 ○從 ○	賢 ○會 ○北 ○來 ○	鬼 ○團 ○星 ○盡 ○
日 ・ 賢 ○會 ○北 ○來 ○	打 ・喫 ○及 ○諸 ○	窟 ○鬪 ○辰 ○界 ○
大 ・ 打 ・喫 ○及 ○諸 ○	一 ・糊 ○東 ○佛 ○	好 ○如 ○似 ○一 ○
開 ○ 一 ・糊 ○東 ○佛 ○	齊 ○餅 ○西 ○祖 ○	功 ○不 ○兔 ○明 ○
口 ・ 齊 ○餅 ○西 ○祖 ○		夫 ○會 ○烏 ○珠 ○
正本・門本共に「踏落」。		
正本・門本共に第四句「孤平」。		
正本・門本共に第一句、第二句「四不同」成らず。 正本・門本共に「不粘格」。		

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上)(菅原)

番号	35	36
正山本『永平広録』	(107)	(108)
心・練・廣・ 々・得・説・ 片・寒・諸・ 々・灰・經・ 目・將・次・ 前・鐵・第・ 殷・漢・文・	閻・箇・萬・卷・ 老・中・年・却・ 業・佛・一・婆・ 鬼・祖・念・婆・ 作・競・直・皮・ 佛・頭・須・一・ 来・現・灰・枚・	徹・雲・夜・ 底・水・來・ 汝・競・僧・ 方・鳴・海・ 見・呼・枯・ 平・ 一・灰・
門鶴本『永平広録』	(110)	(111)
心・練・廣・ 心・得・説・ 片・寒・諸・ 片・灰・經・ 目・將・次・ 前・鐵・第・ 殷・漢・文・	閻・箇・萬・卷・ 老・中・年・却・ 業・佛・一・婆・ 鬼・祖・念・婆・ 作・競・直・皮・ 佛・頭・須・一・ 来・現・灰・枚・	徹・雲・夜・ 底・水・來・ 汝・幾・僧・ 雖・鳴・海・ 見・呼・枯・
備考	正本・門本共に第四句「二四不同」 成らず。	か。 正本・門本の「鳴」は「鳴」の誤記 門本は第四句「孤平」。 正本・門本共に第三句「四仄一平」。

(112)

瞳○佳○非○年○
眠○節●舊●々○
喫●佳○非○加○
飯●辰○新○一●
△起●千○功○三●
下平○於○萬●轉●陽○
二侵

(109)

水●風○生○一●
沫●寒○前○見●
為○菓●未●老●
身○落●出●僧●
雲○換●一●非●
△是●頭○叢○舊●
二心○腦●林○面●

〔上平・七虞〕

『永平廣錄』上堂語所収〔偈頌〕の本文対照(I)(菅原)

(115)

瞳○佳○非○年○
眠○節●舊●年○
喫●佳○非○加○
飯●辰○新○一●
起●千○功○三●
於○萬●轉●陽○
今○化●深○一●

(112)

水●風○生○一●
沫●寒○前○見●
為○菓●未●老●
身○落●出●僧●
雲○換●一●非●
是●頭○叢○舊●
心○腦●林○面●

満胸涙鑠湖。

正本・門本共に「踏落」。

正本・門本共に「踏落」。

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上) (菅原)

正山本『永平広録』

番号	39	40	41
	(113)	(115)	(118)
	春○忻○遍○恒●	留○趨○寶○吾○	落○少●
	雲○得○界○沙○	與○來○林○結●	花○雨●
	春○東○南○諸○	叢○佛○拈○衲●	流○多○
	水○君○枝○佛●	林○祖○得○僧●	水○風○
	與○通○花○舞●	牧○盡○弄○布●	一○月●
	時○管○忽○三○	馬○無○皮○袋●	團○似●
	来○籥○開○臺○	牛○數○毬○頭○	纏○彎○
	○灰○	尤○	

門鶴本『永平広録』

	(116)	(118)	(121)
	春○忻○遍○恒●	留○趨○寶○吾○	落○少●
	雲○得○界○沙○	與○來○林○結●	花○雨●
	春○東○南○諸○	叢○佛○拈○衲●	流○多○
	水○君○枝○佛●	林○祖○得○僧●	水○風○
	與○通○花○舞●	牧○盡○弄○布●	一○月●
	時○管○忽○三○	馬○無○皮○袋●	團○似●
	来○籥○開○臺○	牛○數○毬○頭○	纏○彎○

備考

正本・門本共に第一句七字目の「孤平」。

正本・門本共に第一句七字目の「彎」
は「上平・一五刪」で通韻。

43

42

(120)

鶲・常・大・觀。
鵠・念・地・音。
啼・須・山・菩・
處・知・河・薩・
是・三・不・出・
花・月・死・頭・
開・裡・灰・來・
○灰

(119)

今・生・盡・看・
朝・活・界・々・
授・鍊・十・興・
手・成・枚・聖・
點・諸・合・一・
茶・佛・作・紅・
糊・祖・模・爐・
唱・現・
涅・神・
槃・變・
上平
七虞

(122)

鶲・常・大・觀・
鵠・念・地・音・
啼・須・山・菩・
處・知・河・薩・
是・三・不・出・
花・月・死・頭・
開・裡・灰・來・

今・生・盡・看・
朝・活・界・看・
授・鍊・十・興・
手・成・枚・聖・
點・諸・合・□・
茶・佛・作・紅・
糊・祖・模・爐・
唱・現・
涅・神・
槃・變・

門本第一句五字目は欠如か。
泥本・門本共に第二句「孤平」。

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上) (菅原)

番号	44	45	46	
正山本『永平広録』	(121)	(122)	(123)	
	幾○九●枯○春○ 度●年○樹●功○ 過●人○復●不○ 流○不●生○到● 沙○識●花○處●	幾○九●枯○春○ 度●年○樹●功○ 過●人○復●不○ 流○不●生○到● 沙○識●花○處●	再●白● 三○也● 一●未● 合●篩● 始●四● 傳○五● 燈○升●	々●坐●久●未● 機○斷●鎖●移● 俱○葛●玄●一● 透●藤●關●步● 起●千○今●拝● 風○百●豁●三● 雷○萬●開●台●
門鶴本『永平広録』	(124)	(125)	(126)	
	幾○九●枯○春○ 度●年○樹●功○ 過●人○復●不○ 流○不●生○到● 沙○識●花○處●	幾○九●枯○春○ 度●年○樹●功○ 過●人○復●不○ 流○不●生○到● 沙○識●花○處●	再●白● 三○也● 一●未● 合●篩● 始●四● 傳○五● 燈○升●	萬●坐●久●未● 機○斷●鎖●移● 俱○葛●玄●一● 透●藤●關●步● 起●千○今●拝● 風○百●豁●三● 雷○萬●開●台●
備考	正本・門本共に「不粘格」。	正本第二句七字目の「闕」は「開」の誤記か。 正本・門本共に「仄頭」。	正本・門本共に第一句「孤平」。	

(134)

紅○春○夜・落・
白・風○來○草・
枝○匱・不○六・
々○耐・覺○年・
謾○箇○入○老・
自○中○梅○作・
誇○起○花○家○

〔下平
六麻〕

(125)

駄○拈○心○我・
胎○出○與○宗・
與○為○口○無・
馬○人○相○語・
胎○處○乖○句・
〔上平
一○灰〕

劫○華○
外○開○
春○五○
風○葉○
暗○夜○
裏○間○
興○錦○
〔下平
一○蒸〕

『永平廣錄』上堂語所收「偈頌」の本文对照
(上) 菅原

(136)

紅○春○夜○落○
白○風○來○草○
枝○匱○不○六○
枝○耐○覺○年○
謾○箇○入○老○
自○中○梅○作○
誇○起○花○家○

(128)

駄○拈○眼○我○
胎○出○口○宗○
與○為○競○唯○
馬○人○頭○語○
胎○處○開○句○
〔上平
一○灰〕

圖○花○
俗○猶○
圖○五○
人○葉○
圖○夜○
是○間○
僧○錦○

正本・門本共に第一句「孤仄」。

正本第二句五字目の「乖」は「上平・九佳」で通韻。
正本・門本共に第三句「孤仄」。

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上)

(菅原)

番号
正山本『永平広録』

51 (140) 50 (136) 49 (135)

應。大。世。滿。能。雲。更。許。算。已。
時。吉。尊。桶。轉。門。把。多。來。閱。
納。歲。授。擔。食。三。蒲。勞。六。兩。
祐。朝。記。來。輪。昧。團。務。百。年。
自。喜。用。教。兼。現。功。叉。有。三。
天。坐。平。來。滿。法。塵。不。手。餘。七。
然。禪。二。新。鉢。輪。々。失。成。日。月。
真

門鶴本『永平広録』

(142) (138) (137)

應。大。世。滿。能。雲。更。許。算。已。
時。吉。尊。桶。轉。門。把。多。來。鼻。
納。歲。授。擔。食。三。蒲。勞。六。兩。
祐。朝。記。來。輪。昧。團。謝。百。年。
自。喜。用。教。兼。現。功。叉。有。三。
天。坐。來。滿。法。塵。不。手。餘。七。
然。禪。新。鉢。輪。塵。失。□。日。月。

備考

正本・門本共に「押韻」なし。
正本・門本共に七字目の「日」「失」
は「入声・四質」。
正本は第三句七字目は平字。
門本第三句七字目は欠如か。
正本・門本共に第三句「三六對」成
らず。

正本・門本共に六句から成る。
正本・門本共に偈頌の前に「今朝大
佛拝續其韻良久日」の語あり。
正本・門本共に第一句「孤平」。

(155)

見・地・天。
面・下・上。
勝・無・無。
聞・弥・弥。
名・勒・勒・

七・尉・舉・別・
顛・耐・手・人・
見・天・槌・面・
佛・魔・胸・掛・
八・生・空・瞿・
顛・死・懊・曇・
倒・魔・々・眼・

(145)

釣・呈・佛・心・
人・瑞・々・心・
釣・覆・牽・慶・
己・山・牛・快・
釣・盈・入・笑・
魚・尺・眼・春・
船・雪・前・面・

下平
二先

(156)

見・地・天・
面・下・上・
勝・無・無・
聞・彌・彌・
名・勒・勒・

七・尉・拳・別・
顛・耐・手・人・
見・天・槌・面・
佛・魔・胸・掛・
八・生・空・瞿・
顛・死・懊・曇・
倒・魔・懊・眼・

(146)

釣・呈・佛・心・
人・瑞・佛・心・
釣・覆・牽・慶・
己・山・牛・快・
釣・盈・入・笑・
漁・尺・眼・春・
船・雪・前・面・

正本・門本共に第七字目は「勒」「得」
正本・門本共に第一句「孤仄」。
正本・門本共に第三句七字目は平字。
正本・門本共に第七字目の「勒」
は「入声・一三職」。

正本・門本共に「押韻」なし。
正本は「仄頭」。
正本・門本共に第七字目の「懊」「倒」
は「去声・二〇号」。

番号	54	55	(174)	(169)
正山本『永平広録』				
三・繫・知・牛。	爭・正・物・摩。	逢。		
更・得・有・前。	如・使・色・訶。	人。		
依・當・底・人。	行・南・狸・般・	謾。		
舊・窓・人・後・	者・泉・奴・若・	不・		
照・先・鼻・眼・	下・打・白・波・	得・		
山・夜・孔・中・	山・破・牯・羅・			
堂・月・長・眼・	驗・鍋・念・密・			
下平 七陽				
門鶴本『永平広録』			(175)	(170)
三・繫・知・牛・○	争・正・物・摩・○	逢・○		
更・得・有・前・○	如・使・色・訶・○	人・○		
依・當・底・人・○	行・南・狸・般・○	謾・○		
舊・窓・人・後・○	者・泉・奴・若・○	不・		
照・先・鼻・眼・○	下・打・白・波・○	得・		
山・夜・孔・中・○	山・破・牯・羅・○			
堂・月・長・眼・○	驗・鍋・念・蜜・○			
備考				
正本・門本共に第七字目「念」「驗」 は「去声・二九豔」。				
正本・門本共に第三句七字目は平字。 正本・門本共に第二句「下三連」。				
正本・門本共に「踏落」。				
正本・門本共に第二句「孤平」。				

(183)

(182)

天○莫・鼻・入・	果・雲○信・瞿○
童○謂・直・唐○	如○水・手・曇○
曾○天○眼・學・	是・叢○拈・一・
被・童○橫・步・	也・林○來・著・
永○瞞○無○失・	須○自・木・九・
平○學・兩・邯○	相○恣・杓・旬○
瞞○者・般・鄆○	慶○人○柄・弄・

〔上平
一四寒〕

(184)

(183)

秦・運・入・	天○莫○運・入・	果○雲○信・瞿○
主・水・唐○	童○謂○水・唐○	如○水○手・曇○
莫○雖○學・	却○先○幾○學・	是○叢○拈○一・
言○勞○步・	被○師○勞○步・	也○林○來○著・
瞞○柴○似・	道○瞞○柴○似・	須○自○木・九・
趙○也○邯○	元○弟○也○邯○	相○恣○杓○旬○
璧○般○鄆○	瞞○子○般○鄆○	慶○人○柄○弄・

正本には該当の偈頌なし。
正本には偈頌の冠頭に「本云」の語
があることから、おそらくもとの写
本にあつたものをそのまま掲載した
ものか。

正本・門本共に「押韻」なし。
正本・門本共に第三句七字目は平字。
は「去声・一二四敬」。
正本・門本共に第二句「下三連」。

番号	正山本『永平広録』	門鶴本『永平広録』	備考
59	(181) 法・透・和・小・ 塵・出・尚・魚・ 也・佛・讀・呑・ 掃・魔・儒・大・ 除・網・書・魚・ 〔上平・六魚〕	(184) 只・血・惱・哀・ 憑・涙・乱・哉・ 挂・滿・眼・昔・ 杖・胸・花・日・ 善・向・大・一・ 流・誰・地・團・ 通・説・紅・空・ 〔上平・二東〕	正山本・門本共に第二句、第三句「孤平」。 正山本・門本共に第三句「三六対」成らず。
60	(192) 法・透・和・小・ 塵・出・尚・魚・ 也・佛・讀・呑・ 掃・魔・儒・大・ 除・網・書・魚・ 〔上平・六魚〕	(185) 只・血・惱・哀・ 憑・涙・乱・哉・ 挂・滿・眼・昔・ 杖・胸・花・日・ 善・向・大・一・ 流・誰・地・團・ 通・説・紅・空・ 〔上平・二東〕	正山本・門本共に第二句、第三句「孤平」。 正山本・門本共に第三句「三六対」成らず。
61	〔上平・六魚〕	〔上平・二東〕	

正山本・門本共に第四句「孤平」。
正山本・門本共に第三句「四仄一平」。

62	61	60
(217)	(213)	(212)
雲○花○清○ 明○時○白● 水●幸●家○ 悅●有●風○ 功○護●梅○ 圓○身○雪● 滿●方○月●	功○風○柴○糴● 徳●雲○頭○得● 圓○感●帶●州○ 成○會●火●中○ 眼●龍○上●黃○ 豁●得●山○米● 開○水●隈○來○	梅○打●惱●瞿○ 花○失●亂●曇○ 新○眼●人●老● 發●晴●天●賊● 舊●無●狼●入● 年○處●藉●魔● 枝●覓●時●魅●
	↑上平 ↓上平 →四支	
(219)	(214)	(213)
雲○花○清○ 明○時○白● 水●幸●家○ 悅●有●風○ 功○護●梅○ 圓○身○雪● 滿●方○月●	功○風○柴○糴● 徳●雲○頭○得● 圓○感●帶●州○ 成○會●火●中○ 眼●龍○上●黃○ 豁●得●山○米● 開○水●隈○來○	梅○打●惱●瞿○ 花○失●亂●曇○ 新○眼●人●老● 發●晴●天●賊● 舊●無●狼●入● 年○處●藉●魔● 枝●覓●時●魅●
正本・門本共に「踏落」。	らず。正本・門本共に第三句「三六対」成	正本・門本共に「踏落」。

『永平廣錄』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上)(菅原)

番号	正山本『永平廣錄』	門鶴本『永平廣錄』	備考
64	63	(224)	(223)
		猫○未・狗・佛・ 兒○免・子・性・ 生○入・一・巴・ 狸・皮・角・鼻・ 奴○袋・無・有・ <small>〔上平・七虞〕</small>	如○拈・雪・雙・ 来○轉・後・林・ 兩・虛○焉○不・ 度・空○知○假・ 放・橫○半・東・ <small>〔下平・七陽〕</small> 毫○世・夜・君・ 光○界・霜○力・ <small>〔下平・七陽〕</small>
		(226)	(225)
		猫○未・狗・佛・ 兒○免・子・性・ 生○入・一・巴・ 狸・皮・角・鼻・ 奴○袋・無・有・	如○拈・雪・雙・ 来○轉・後・林・ 兩・虛○焉○不・ 度・空○知○假・ 放・橫○半・東・ 毫○世・夜・君・ 光○界・霜○力・
		<small>正本・門本共に「不粘格」。</small> <small>正本・門本共に第一句、第二句「三 四不同」成らず。</small> <small>正本・門本共に第一句、第二句、第 三句「四仄一平」。</small> <small>正本・門本共に第四句「四平一仄」。</small>	<small>正本・門本共に「踏落」。</small>

67	66	65
(249)	(247)	(236)
今○猶○山○	無○惱○佛○先○	自○混○臭○堀○
日●若●僧○	明○亂○祖○師○	家○雜○惡○空○
歸○孤○出○	業○婆○家○今○	鼻○駄○水○平○
山○輪○去○	識○婆○風○日○	孔○牛○雲○地○
雲○處○半○	及○多○扇○弄○ <small>上平</small>	自○兼○撥○構○
喜●太●年○	兒○少○起○精○ <small>上平</small>	家○佛○潑○鬼○
氣●虛●餘○	孫○恨○雲○魂○ <small>三元</small>	牽○祖○天○窟○ <small>下平 二先</small>
(251)	(249)	(238)
今○猶○山○	無○惱○祖○先○	自○混○臭○掘○
日●若●僧○	明○亂○佛○師○	家○雜○惡○空○
皈○孤○出○	業○婆○位○今○	鼻○駄○水○平○
山○輪○去○	識○婆○中○日○	孔○牛○雲○地○
雲○處○半○	及○多○命○弄○	自○兼○撥○構○
喜●太●年○	兒○少○不○精○	家○佛○潑○鬼○
氣●虛●餘○	孫○恨○存○魂○	牽○祖○天○窟○
<small>正本の第二句七字目の「雲」は「上平・一二文」で通韻。門本の「中命不存」の傍らには「祖家風扇起雲」の語あり。</small>		

番号	69	(252)	68	(250)
正山本『永平広録』	愛・山・之・愛・甚・於・初。 <small>(上平・六魚)</small>			
門鶴本『永平広録』	愛・山・之・愛・甚・於・初。 <small>(上平・六魚)</small>			
備考	<small>正本・門本共に「押韻」なし。</small> <small>正本・門本共に「不粘格」。</small> <small>正本・門本共に第三句「下三連」。</small> <small>正本・門本共に第一句目は平字。</small> <small>正本・門本共に第二句「二六対」成らず。</small>			
	更・會・法・獅。 今・倒・抽・喚・ 下・中・王・子・ 作・却・釘・應・ 文・俱・之・吼・ 誰・門・未・弟・ 殊・是・法・音・ 家・前・了・兄・ 兩・仙・一・師・ 乾・刹・還・同・ <small>(上平・四支)</small> 々・陀・如・子・ 尸・竿・拔・一・ 槍・客・斯・知・ 櫛・著・楔・聲・			

72

(259)

大・百・五・
小・草・月・
石・頭・五・
頭・邊・日・
談・見・天・
般・薬・中・
若・山・節・

下平
七陽

71

(255)

眉・把・剛・拈・
毛・手・被・華・
相・共・瞿・微・
結・行・曇・笑・
入・詣・亂・太・
僧・佛・一・乖・
堂・殿・場・張・

上平
八三

70

(254)

一・澆・道・生・
場・水・處・時・
懶・驀・廣・震・
懼・頭・開・動・
弄・無・八・三・
精・垢・萬・千・
魂・體・門・界・

二三元

(261)

大・百・五・
小・草・月・
石・頭・五・
頭・邊・日・
談・見・天・
般・薬・中・
若・山・節・

(257)

眉・把・剛・拈・
毛・手・被・花・
相・共・瞿・微・
結・行・曇・笑・
入・詣・亂・太・
僧・佛・一・乖・
堂・殿・場・張・

(256)

一・澆・道・生・
場・水・處・時・
懶・驀・廣・震・
懼・頭・開・動・
弄・無・八・三・
精・垢・萬・千・
魂・體・門・界・

成らず。
正本・門本共に第一句「三四不同」。
正本・門本共に第二句「不粘格」。
正本・門本共に第三句「踏落」。

正本・門本共に第三句「下三連」。

正本・門本共に第二句「孤平」。

番号	73	74	(268)
正山本『永平広録』			(266)
			誰○等○明○觀○音○ 測○閑○星○樹○聲○ 吾○坐○出○經○流○ 家○破○現○行○布○ 有○金○照○三○到○ 壁○剛○雲○七○人○ 觀○座○漢○日○間○
			又・欲・兀・磨○ 來・向・兀・塙○ 這・那・思・作○ 裡・邊・量・鏡○ 觜・尋・道・是○ 盧・瞥・豈・功○ 都・地・踴・夫○
		正山本『永平広録』	(268)
門鶴本『永平広録』			誰○等○明○觀○音○ 測○閑○星○樹○聲○ 吾○坐○出○經○流○ 家○破○現○行○布○ 有○金○照○三○到○ 壁○剛○雲○七○人○ 觀○座○漢○日○間○
			又・欲・兀・磨○ 來・向・兀・塙○ 這・那・思・作○ 裏・邊・量・鏡○ 觜・尋・道・是○ 盧・瞥・豈・功○ 都・地・踴・夫○
備考			記か。正本・門本共に第二句七字目の「踴」は「疎」(通韻「上平・六魚」)の誤 は「去声・一五翰」。 正本・門本共に第四句「下三連」。

77	76	75
(274)	(273)	(271)
枉・人・磨・ 用・道・塙・ 功・中・作・ 夫・秋・鏡・ 誰・月・掛・ 不・一・天・ 笑・圓・邊・	洞・狼・蹈・天・ 宗・藉・倒・童・ 有・一・駄・今・ 託・場・胎・日・ 祖・桶・與・翻・ 師・底・馬・巾・ 來・脱・胎・斗・	為・萬・不・天・ 山・里・往・童・ 舊・哀・天・今・ 主・哉・台・日・ 作・無・及・錯・ 牛・寸・五・行・ 來・草・臺・脚・
	上 平 上 平 灰	上 平 上 平 灰

(277)	(276)	(274)
枉・人・磨・ 用・道・塙・ 功・中・作・ 夫・秋・鏡・ 誰・月・掛・ 不・一・天・ 笑・圓・邊・	洞・狼・蹈・天・ 宗・藉・倒・童・ 有・一・驢・今・ 託・場・胎・日・ 祖・桶・與・番・ 師・底・馬・巾・ 來・脱・胎・斗・	為・萬・不・天・ 山・里・往・童・ 舊・哀・天・今・ 主・哉・台・日・ 作・無・及・錯・ 牛・寸・五・行・ 來・草・臺・脚・

正本
門
本共に第三句
に第一句
「踏落」。
孤平。

正本・門本共に「踏落」。

番号	78	79	
正山本『永平広録』	(280)	(283)	
	無○明○業○識○豈○生○縁○ 如○風○若○心○何○鈴○道○鳴○ 喚○不○心○即○作○鳴○鳴○是○ 是○心○實○可○ 心○不○鈴○空○鳴○鳴○鳴○鳴○ 下平一先	還○無○妙○即○ 我○來○存○是○ 翻○無○卓○身○ 中○去○々○心○ 徒○應○豈○非○ 入○聲○情○陰○ 邊○色○縁○聚○ 下平八庚	
門鶴本『永平広録』	(283)	(286)	
	無○明○業○識○豈○生○縁○ 如○風○若○心○何○鈴○道○鳴○ 喚○不○心○即○作○鳴○鳴○是○ 是○心○實○可○ 心○不○鈴○空○鳴○鳴○鳴○鳴○ 下平一先	還○無○妙○即○ 我○來○存○是○ 翻○無○卓○身○ 中○去○卓○心○ 徒○應○豈○非○ 八○聲○情○陰○ 邊○色○縁○聚○ 下平一先	
備考			<p>正本・門本共に「不粘格」。 正本・門本共に第二句「三六対」成 らず。 正本・門本共に第七字目は總て「鳴」 で統一。</p>

	82	81	80
	(296)	(295)	(285)
弄・薦・丙・	大・今・當・無・	可・暖・衲・先・	
得・直・丁・	庚・朝・時・孔・	怜・處・子・春・	
金・逢・童・	嶺・要・擊・鐵・	百・商・拈・桃・	
星・煙・子・	頭・得・破・槌・	丈・量・來・李・	
明・且・來・	臘・知・野・轟・	枉・雖・作・花・	
歴・莫・求・	下平月・端・狐・霹・	功・瞌・火・開・	
々・休・火・	上平七先蓮・的・禪・靈・	夫・睡・爐・發・	

	(299)	(298)	(288)
	弄・薦・丙・	大・今・當・無・	可・暖・衲・先・
得・直・丁・	庚・朝・時・孔・	怜・處・子・春・	○
金・逢・童・	嶺・要・擊・鐵・	百・商・拈・桃・	○
星・煙・子・	頭・得・破・槌・	丈・量・來・李・	●
明・且・來・	臘・知・野・亘・	枉・雖・作・花・	○
歴・莫・求・	月・端・狐・霹・	功・瞌・火・開・	○
歴・休・火・	蓮・的・禪・靈・	夫・睡・爐・發・	●

正本・門本共に「踏落」。 正本・門本共に「仄頭」。 正本・門本共に「仄頭」。 正本・門本共に「仄頭」。	正本・門本共に「踏落」。 正本・門本共に第四句「孤平」。	正本・門本共に「踏落」。 正本・門本共に第一句「孤仄」。
--	---------------------------------	---------------------------------

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文対照(上) (菅原)

番号	83	84	(308)	(299)	正山本『永平広録』
					門鶴本『永平広録』
					備 考
					正本・門本共に第三句「三六対」成らず。
					正本・門本共に「仄頭」。

87	86	85
(317)	(314)	(310)
如・摩・教・ 拖・耶・催・ 兜・灌・二・ 卒・沐・龍・ 天・誕・各・ 諸・生・運・ 樂・身・水・	何・不・黃・春・ 必・能・鶯・雨・ 靈・疑・蚯・春・ 雲・著・蚓・風・ 見・永・及・春・ 桃・平・蝦・草・ 花・道・蠍・木・	古・才・投・噛・ 今・與・子・花・ 道・不・當・百・ 得・才・初・鳥・ 進・三・儀・獻・ 將・十・賣・牛・ 修・里・油・頭・
	下平六麻	尤
(320)	(317)	(313)
如・摩・教・ 拠・耶・催・ 兜・灌・二・ 卒・沐・龍・ 天・誕・各・ 諸・生・運・ 樂・身・水・	何・不・黃・春・ 必・能・鶯・雨・ 靈・疑・蚯・春・ 雲・著・蚓・風・ 見・永・及・春・ 桃・平・蝦・草・ 花・道・蠍・木・	古・才・投・含・ 今・不・子・花・ 道・才・當・百・ 得・三・初・鳥・ 進・十・儀・獻・ 將・五・賣・牛・ 修・里・油・頭・
正本 十句 門本 門本共に 第八句、 第十句 正本 三六對 門本共に 第三句、 孤仄。	正本 門本共に 第一句、 第九句、 第十句 正本 門本共に 第一句、 第九句、 第十句 正本 門本共に 第一句、 第九句、 第十句 正本 門本共に 第一句、 第九句、 第十句	正本・門本共に 「踏落」。

正本第一句一字目の「噛」は「銜」の誤記か。
門本第三句「下三連」。

番号

『永平広録』上堂語所収「偈頌」の本文对照(上)(菅原)

(319)

向・衲・豈・雲。
夏・僧・拈・水・
更・鼻・凡・安・
香・孔・聖・居・
五・一・定・共・
葉・穿・生・作・
花・去・涯・家・

唯・最・濟・大・撈・把・似・
我・末・度・悲・来・定・染・
獨・後・衆・願・水・泥・人・
尊・身・生・海・月・團・間・
實・眞・脱・無・認・曾・界・
上平其・其・苦・涯・為・作・六・
二因・始・津・岸・神・佛・塵・
真

卍山本『永平広録』

(322)

向・衲・豈・雲・○
夏・僧・拈・水・●
更・鼻・凡・安・○
香・孔・聖・居・○
五・一・定・共・●
葉・穿・生・作・●
華・去・涯・家・○

唯・最・濟・大・撈・把・似・
我・末・度・悲・来・定・染・
獨・後・衆・願・水・泥・人・
尊・身・生・海・月・團・間・
實・眞・脱・無・認・曾・界・
其・其・苦・涯・為・作・六・
因・始・津・岸・神・佛・塵・○

門鶴本『永平広録』

卍本・門本共に第一句「下三連」。

備考

91	90	89
(335)	(325)	(323)
参・ 大・途・癡・無・ 禪・ 地・中・人・始・ 求・ 山・顛・喚・劫・ 佛・ 河・倒・作・来・ 莫・ 清・更・本・生・ 圖・ 淨・流・來・死・ 佛・ 二・身・布・人・本・ 真	養・拈・遍・五・ 得・来・吉・月・ 渙・一・文・五・ 山・莖・殊・日・ 水・丈・儀・天・ 祜・六・俗・中・ 牛・草・流・節・ 尤	下平・六麻
(338)	(328)	(326)
参・ 大 途 癡 無 禪・ 地 中 人 始 求・ 山 顛 喚 劫 佛・ 河 倒 作 來 莫・ 清 更 本 生 圖・ 淨 流 來 死 佛・ 身 布 人 本	養 拈 遍 五 得 來 吉 月 渙 一 文 五 山 莖 殊 日 水 丈 儀 天 祜 六 俗 中 牛 草 流 節	
正本・門本共に「踏落」。	正本・門本共に「踏落」。	正本・門本共に「踏落」。 正本・門本共に第三句「下三連」。 正本・門本共に第一句「三四不同」。 成らず。

『永平廣錄』上堂語所收「偈頌」の本文対照 (上) (菅原)

92	番号
(337)	正山本『永平廣錄』
南○頭○養○明○ 泉○角○得○々○ 沢○到○水○百○ 嶠○時○牛○草○ 得○牛○頭○拈○ 春○直○角○來○ 耕○到○生○用○	終○博○圖○ 知○解○佛○ 到○鏡○參○ 此○消○禪○ 用○何○佛○ 功○面○轉○ 夫○目○蹠○
<small>下平 八庚</small>	<small>上平 七虞</small>
(340)	門鶴本『永平廣錄』
南○頭○養○明○ 泉○角○得○明○ 沢○到○水○百○ 嶠○時○牛○草○ 得○牛○頭○拈○ 春○直○角○來○ 耕○到○生○用○	纔○博○圖○ 知○解○佛○ 到○鏡○參○ 此○消○禪○ 用○功○面○轉○ 夫○目○蹠○
<small>正本・門本共に「踏落」。</small>	<small>備考</small>